

〔平成20年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞(天然ダム)の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を6月20日に設置。〕

## 【7月11日(金)20時 災害現地対策本部情報】

### 1. 災害復旧状況説明会を開催

本日、花山地区(石楠花センター)と栗駒地区(みちのく伝創館)にて、避難住民を対象とした災害復旧状況の説明会が開催されました。

花山地区では約50名、栗駒地区では約100名の住民が参加し、小関現地対策本部長から河道閉塞(天然ダム)の対策実施状況を説明しました。

このほか、林野庁、宮城県、栗原市からも復旧状況等の説明が行われ、住民からは、生活再建支援や一日も早い復旧を望む声が多数寄せられました。



▲熱心に耳を傾ける花山地区住民の方々



▲栗駒地区住民に説明する小関現地対策本部長

### 2. 工事進捗状況

- ①浅布地区：仮排水路による自然通水中。既設水路バイパス埋立て復旧継続。
- ②小川原地区：仮排水路による自然通水中。倒木搬出継続。
- ③温湯地区：立木伐採・除根・運搬完了、工事用道路造成継続(495m/750m)。
- ④湯ノ倉温泉地区：ポンプ運転管理(16台)継続、ポンプ配置換え(8台)完了、工事用道路造成継続(1100m/2400m)。
- ⑤沼倉、沼倉裏沢地区：倒木処理、工事用道路継続、砂防えん堤袖部保護、転石破碎。
- ⑥湯浜地区：現地調査準備、河道閉塞(天然ダム)目視監視。



▲湯ノ倉温泉地区工事用道路造成▲

### 3. 湯ノ倉温泉地区の合同現地取材について

7/14(月)に河道閉塞(天然ダム)箇所「湯ノ倉温泉地区」の合同現地取材を実施することとなり、記者発表を行いました。

湯ノ倉温泉地区はTV等でも頻繁に取り上げられている箇所ですが、非常に厳しい地形条件で、足下も悪く、現地入口から現地までは徒歩で約1時間30分かかるため、取材にあたっては体力に自信のある方をお願いしているところです。



▲沼倉裏沢地区砂防えん堤袖部保護



▲沼倉地区倒木処理